

宮崎ロータリークラブ週報



no. 17 | 発行 | 2023年11月7日 | 担当 | 水井 孝昭

■ 前回の例会記録

第3403回 2023年10月31日(火)

【ゲスト卓話】
(株)ダンロップスポーツエンタープライズ
取締役 トーナメント事業部事業部長 亀井 秀和 様
「ダンロップフェニックストーナメント50年の歴史」

出席状況報告

| | |
|----------------|--------|
| 会員数(名誉会員2名を除く) | 105名 |
| 例会出席会員数 | 64名 |
| 同上出席率 | 60.95% |

■ 今回の例会予定

第3404回 2023年11月7日(火)

池ノ上ガバナー公式訪問例会
(クラブフォーラム)

* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

■ 次回の例会予定

第3405回 2023年11月14日(火)

【ロータリー財団月間】
ロータリー財団委員長
株式会社宮崎観光ホテル
代表取締役社長 平嶋 孝次 会員

【新会員卓話】
明治安田生命保険相互会社
宮崎支社長 山本 修司 会員

■ 幹事報告

- 配布物の確認
・週報No.15
- 報告2 告知1
・本日はクラブ協議会です。
- ・10月25日は中部地区の会長幹事会が開催され池ノ上ガバナー、長嶺ガバナー補佐、佐藤地区幹事も出席されました。
- ・ハワイ州マウイ島山火事支援金について
722,600円を第5000地区「マウイ島火災救援基金」に送金しました。地区事務所より告知
- ガバナー公式訪問について
11月7日はガバナー公式訪問となっております。池ノ上ガバナーの晴れの舞台です。
ドレスコードは地区大会と同じ出立でお願い致します。12時には会員の皆様全員でがお出迎えできますようどうぞご協力よろしくお願い致します。
- 池ノ上ガバナーの動き
30日 宮崎東 寺坂・寺原会員 31日 西都 鳥山・安藤会員
1日 宮崎北 佐藤嘉信、廣川会員 2日 宮崎中央 黒木・長友岳夫会員が随員

■ ビジター会員



国際RC第2730地区
国際奉仕委員会

中村 聡 委員長



第47代会長

定永 正明 名誉会員



Happy Box

佐藤 嘉信 会員

10月28日に九州4地区合同事業の一環で若草通でポリオ根絶のための街頭募金を行いました。宮崎クラブの青少年奉仕委員会とローターアクトの皆さんに募金活動をお願いしました。

岡本会長をはじめ、宮崎クラブの皆さんからも募金をしていただきました。ご協力に感謝し、ハッピーします。



Happy Box

藺田 潤子 会員

12月27日から29日まで、宮崎市民文化ホールで、第1回宮崎国際バレエコンペティションが開催されます。バレエダンサーを志す若者たちのコンクールで、入賞すると、世界の有名バレエスクールのスカラシップが与えられます。実行委員会では、将来は日本のみならず海外から、参加者が集まるコンクールに育てていくことを視野に、がんばっています。

ただ、第1回目ということで、知名度もなく、現在、企業や個人の皆様の協力を募っております。

是非、皆様のご支援を宜しくお願いいたします。また、コンペティションのエントリーも、まだ受け付けておりますし、コンペティション、公開ワークショップや、公開リハーサルをご覧ください。

ご家族やお知り合いのバレエをなさる方、バレエに興味がおありの方にお知らせ頂けると幸いです。



Happy Box

岩切 崇徳 会員

中3の長女が所属します宮大附属中の合唱部が、先日行われました第76回全国合唱コンクール全国大会において、見事、金賞を獲得することができました。全国大会での中学校混声合唱での金賞獲得は宮崎県勢初の快挙ということで、惜しくも特別賞を取ることはできませんでしたが、全国で、5本の指に入ることができ、子どもたちにとって大変満足な結果となりました。また、様々な方から応援やお祝いの言葉をいただきありがとうございました。特に道中、全日空の機内ではクルーの皆さんから激励や祝福の言葉を頂き大変励みになったと娘が非常に感激しておりました。この場を借りてお礼申し上げます。

■ 会長の時間



会長卓話

岡本 俊則 会長

皆様こんにちは、来週はいよいよガバナー公式訪問例会です。今日は公式訪問を直前にして池ノ上克ガバナー誕生の経緯(ご本人了解)をお話させていただこうと思います。

話の入り口は2年前(2021年)の春先のこと。当時地区のガバナー選考委員であられた押川弘己PGから宮崎RCあてガバナーを出して欲しいとの要請がありました。

内容を確認すると既に内定をしていた候補者が体調不良のため内定を辞退され、急遽、候補者の選定が必要となったとのこと。一刻を争う切迫した事態だとのこと。

我がクラブとしてもガバナーの擁立は必要不可欠な要素であり、永年の悲願でもありました。出来るだけ早い時期にガバナーを輩出したいとの思いはありましたが、諸々の要件からこれまでの間、実現に至らず時間が過ぎていきました。

この要請を受け加賀城征洋パスト会長、そして細川義明パスト会長、両氏が動き始めました。この場面での対応が地区内での我がクラブの“立ち位置”を大きく左右する部分だと捕らえられ、前向きに真剣に検討を開始する旨を地区に伝えました。

当然、お二人の頭の中にあるガバナー候補者は池ノ上克先生であります。

まずは、クラブとしての支援です。地区全体の現組織の状況を確認・把握し、ガバナーに必要な組織の構築を検討、人的・物理的に想定できる限りの様々な支援内容を検討されました。

また、一方ではガバナー就任と同時に発生するであろう、個人の負の部分(リスク)の想定も検討され、状況に応じた対処方法等もしっかりと考えておられました。

組織の要となる役職については特に“こだわり”を示され、諸処に的確な人選を行い、しっかりとガバナーをサポート出来る体制を仮に構築されました。(ほぼ現在の組織)

大筋の流れは、このようなものとなりますが、実際にはコロナ禍の外出規制の中、まるで忍びの様に隠れて会談を行い、数ヶ月を掛け、何度も何度もこれらの議論を重ねられようやくここにたどり着いておられます。

池ノ上先生に対するガバナー要請は正に一発勝負との認識を持たれており、何としてもご理解を頂かなければならないと言

う思いがおりだったことと思います。それ故、お二人は“綿密”な準備を整えられ、その場に挑まれました。その真剣さと奥の深い思考は、永年クラブの代表として様々な場面で難しい決断を下してこられたお二人の、覚悟と、同時に、池ノ上先生を大切に思ってお気持ちの表れだと感じていました。

そして、池ノ上先生はそのお二人の熱い思いをしっかりと受け止められました。(心中には様々な思いがおりだったことと思います。)ここに晴れて、池ノ上克ガバナーノミニが誕生致しました。その後のご活躍は皆様ご周知のとおりです。

池ノ上ガバナーはこうおっしゃいます。「レジェンドお二人が背中を押して下さったお陰で私は今の場にいます。」このことを是非皆さんに知っておいて欲しいと・・・

来週、この場で池ノ上克ガバナー最後の公式訪問例会が執り行われます。

ホームクラブとして宮崎ロータリークラブ全員揃ってしっかりと姿勢を正し、池ノ上ガバナーを“お帰りなさい”とお迎え致します。いつもより少し長い時間となりますが皆様最後までどうぞ宜しくお願い致します。

■ ゲスト卓話



「ダンロップフェニックストーナメント
50年の歴史」

(株)ダンロップスポーツエンタープライズ
取締役 トーナメント事業部事業部長
亀井 秀和 様

それでは最初に、まず私達の会社の状況、立ち位置をご説明させていただきます。一応ダンロップについておりますので、住友ゴムグループの一員です。

私達がトーナメントを受けているのが3月から12月までです。私も来週10日から宮崎に入る予定で、その後高知になります。

また、リコーチームはフェニックスの金曜日、土曜日位に入ってきます。一番長い人で、40日間位宮崎に滞在する事になります。

次に宮崎と弊社との関係ですが、スポーツの所では、都城にゼクシオの工場があります。そしてゼクシオのクラブが今年発売になります。そこはタイヤ工場ですが、3交代制で回しております。ゼクシオのクラブ生産が始まっているのと、4月アクサレディスがUMKカントリーで、11月フェニックスに、リコーと開催します。

フェニックスの前、72年と73年は全日空様がトーナメントの冠をされていました。74年の時に、佐藤棟良様と大西久光様が「宮崎を世界に発信したい」と強い思いを持って、ニクラウスの出場にこぎつけました。73年に、サンホテルが開場し、前夜祭等もしております。

この時、選手と夫人の両方セットで呼びたいと、奥様同伴で一人一選手について、4500ドル払うのでセットで来てほしいというのが最初のアプローチです。前夜祭や夫人教室等、その後も続いております。

それからMRT様の開局20周年もちょうどこの時です。また、この時、セババステロスが、この時まだ18歳で参加をしております。

1985年、中島さんが初めて日本人として優勝しました。それまでは外人のための試合だとか、散々言われた事もありますが、いつか日本人選手が世界のフィールドで活躍する事を夢見ていました。

次にオラサバルですが、マスターズで勝った選手です。ご存知の方も多くいらっしゃると思うのですが、元々オラサバルは、セババステロスの子分で、当時はセババステロスに付いて来たというのが本音で、当時は全然無名でした。また、インターナショナルスナックでは、当時外国人選手が来るにあたり、スタドラ-お勧めのホットドッグや、バーベキューサンドイッチ等を作ったのですが、やはり地元の方は地鶏の匂いにつられていました。

佐藤棟良様とお話している中で、一番印象に残っているのは



やはり宮崎での雇用を考えないといけないという事でした。私達はバブルの最後の方での入社したので、周囲は東京や大阪の学校に行ったり、就職したりしていたのですが、当然宮崎から出れない子、あるいはタイアして宮崎に戻ってくる人もいるだろうから、雇用をちゃんとしないと。あるいは、娯楽も当然考えないといけない。

それからジョン・デリー、自分も結構好きな選手なのですが、几帳面で、カメラマンが多いとなかなか打たない事で有名でした。13番のTショットで、すごく曲げた時、ジョン・デリーはそのドライバーをギャラリーに渡しました。クラブを叩きつけた後、ギャラリーに渡したのですが、もらったギャラリーも本当にもらっていいのかと大会本部にられました。もうミスショットしたからいらぬという事で、そのギャラリーにドライバーを渡しました。

93年の時には、アーニー・エルスも初出場優勝をしており、94年には、シーガイアのグランドオープンになります。

それから、94、95、96とジャンボが3連覇をしました。今のクラブハウスは2002年にリニューアル2回目となっています。それからタイガーが初めて来たのは2002年ですが、この時、宮崎牛の牛丼がすごく美味しいと彼が発信してくれました。

2000年、片山晋呉選手が優勝「本日の主役」というタスキを付けた時は、大西様からすごく怒られました。

2004年、2005年タイガーが優勝しました。タイガーの人気はすごく、食事の際も、フィットネスの際も周囲にたくさんのお客様がおりました。

また、タイガーはアメリカからプライベートジェットで宮崎空港に来るわけですが、この時はJAL様にお手伝いをさせていただき、ゴミ捨てや帰りの飛行機の食材の手配等、ご協力いただいた事に感謝しております。

2006年、ハリントンとプレイオフになった後、タイガーがいつもの通り膝がすごく痛くなり、マネージャーからバスタブを全部水で埋め尽くしてくれという話もあり、ホテルだからこそできる事だったのですが、実際バスタブを全部水で埋めてもらったという事もありました。

それから、こちらはタイガーと石川遼君が写っています。石川遼君はこの時、アマチュアで優勝して初めてフェニックスに出た時です。

松山君が2021年にマスターズ優勝者となって、22年チャンピオンズディナーに宮崎牛を選んでくれたというコメントが載り、本当に世界に発信されたなと実感しております。

それから、PCCが21年で開場50周年、それからワトソンが今年、開場30周年になっています。

本日ロータリークラブでの卓話という事もあり、「企業は社会のためにある」というのが住友精神であったり、トーナメントが宮崎県宮崎市に何ができるかということで、ずっと議論を重ねた結果、今「ふるさと愛の基金」でチャリティーをさせていただいています。

最後になりますが、今大会の参加選手は、ご存じのように松山選手、プロの中の1番である全米プロで優勝したケプカ選手、ウィンダム・クラーク選手など。その他、新聞等に乗っていると思いますので見られて下さい。

本日はご静聴ありがとうございます。ありがとうございました。

1 2023 ダンロップフェニックス 50回の歩み



2 住友ゴムグループ



3 宮崎県との関わり



4 50年の歩み 1974-1978



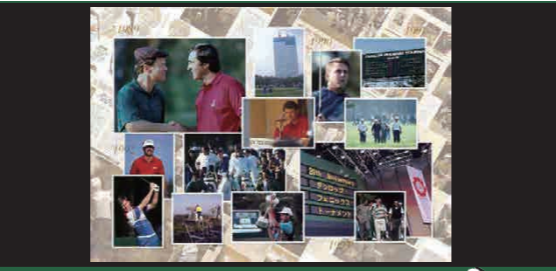
5 50年の歩み 1979-1983



6 50年の歩み 1984-1988



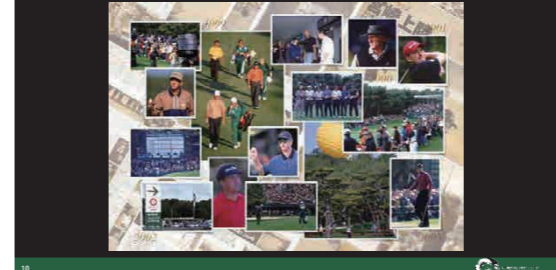
7 50年の歩み 1989-1993



8 50年の歩み 1994-1998



9 50年の歩み 1999-2003



10 50年の歩み 2004-2008



11 50年の歩み 2009-2013



12 50年の歩み 2014-2018



13 50年の歩み 2019-2022



14 第50回 ダンロップフェニックストーナメント 出場選手紹介

Hideki Matsuyama 松山英樹 ★スリクラン契約選手

ワールドゴルフランキング36位 / FEDEXランキング50位
 1992年2月25日生まれ (31歳)
 身長: 181cm 体重: 90kg 国籍: 日本
 通算勝利数: 18勝 (PGAツアー8勝 / 内メジャー1勝、日本ツアー8勝)
 メジャー優勝: 2021 Masters Tournament
 日本ツアー完全王 (2013)
 2023年主な成績: THE PLAYERS Championship 5位, Farmers Insurance Open 5位
 ※ワールドゴルフランキング、FEDEXランキング、観戦は2023年10月23日現在

※DPT2019年以後、4年ぶり9回目の出場 / 最高位: 優勝(2014)
 松山英樹とダンロップフェニックストーナメントの縁はアマチュア時代の2011年から始まった。この年は最終日に限って4位タイに終わったが、至2012年は逃げ切りを誇るルーデナルドを追い上げ、アマチュアながら2位に食い込んだ。2014年はジョーダン・スピースと4日間隔でレベルのつばぜり合いを演じて観客の心を震わせた。最後は猛追してきた岩田寛とのプレーオフを制して大会初勝利をつかんでいる。これまで米ツアーでマークした8勝は他の追従を許さない日本選手最多。2017年には世界ランキング日本選手世代最年長の2位にまで上り詰めた。2018年の「マスターズ」で日本男子老練のメジャー初勝利を成し遂げたことはまだ記憶に新しい。今大会への出場は4年ぶり。記念の第50回大会で9年ぶりの2勝目を狙う。

15 第50回 ダンロップフェニックストーナメント 出場選手紹介

Brooks Koepka ブルックス・ケプカ ★スリクラン契約選手

ワールドゴルフランキング18位
 2023ファイターカップ米田選手
 LIVツアー優勝 / 全米オープン2位
 1990年5月3日生まれ (33歳)
 身長: 183cm 体重: 82kg 国籍: アメリカ
 通算勝利数: PGAツアー8勝 / 内メジャー5勝、日本ツアー2勝、LIV2勝、DPT1勝
 メジャー優勝: 2017 U.S. Open, 2018 U.S. Open, 2018PGA Championship, 2019PGA Championship, 2023PGA Championship
 2023年主な成績: (PGA) PGA Championship 優勝,
 (LIV) Orlando 優勝, (LIV) Jeddah 優勝
 ※ワールドゴルフランキング、観戦は2023年10月23日現在

※DPT2018年以後、5年ぶり4回目の出場 / 最高位: 優勝(2016、2017)
 大会レコードホルダーが4年ぶりに輝いている。今大会初出場の2016年、ケプカはまだツアー1勝で世界ランキングは21位。有望な若手の一人に過ぎなかった。だが、圧倒的な攻撃力とダイグとスコアを伸ばし、大会新記録の21アンダーで頂点に立った。翌2017年はこれまで大会新記録の打撃で連覇。スコアは自身の記録に迫る20アンダーだった。2018年は12位に終わったが、出場前設計のアンダーによる驚異的な数字を叩き出している。今大会で初優勝を叩きつけたケプカは継続的な進化を遂げた。2017年「全米オープン」でメジャー初優勝をつかみ取り、2018年には「全米オープン」で全米プロを制覇。続く間に世界ランキング1位に躍り出た。今年の「マスターズ」は逆転負けを喫したが、続く「全米プロ」では単独首位からきっちり逃げ切り、メジャー5勝目を挙げた。LIVゴルフでは今季2勝を挙げ、ポイントランキング3位に入っている。

池ノ上ガバナー 公式訪問
 (今週の予定)

11/7(火) 宮崎 ●随行者 / 佐藤嘉信、廣川拓也

11/8(水) 鹿児島南 ●随行者 / 廣川拓也、寺坂文博

Rotary
 第2730地区
 宮崎ロータリークラブ

- 本年度(2023~2024)宮崎ロータリークラブの目標**
- ①国際ロータリー第2730地区 地区大会をホストクラブとして開催
 - ②池ノ上ガバナーの活動支援
 - ③青島太平洋マラソン3キロの部 復活開催
 - ④会員数100名以上の堅持と女性会員の増強
 - ⑤例会出席率90%以上の確保
 - ⑥ロータリー財団寄付一人あたり100ドル以上
 - ⑦米山奨学会寄付一人あたり10,000円以上

- <会長> 岡本 俊則
- <副会長> 藺田 潤子
- <幹事> 藺田 有美
- <会報委員会> 福松 修一郎
- 例会日 / 毎週火曜日(12:30~13:30)
- 例会場 / 宮崎観光ホテル(☎27-1212)

